

例会報告：2014年9月16日（晴れ）第1859回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2014年9月16日 12：30～14：30

❖ 会長挨拶



齋藤 永 会長

皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、国際ロータリー第2780地区 2014～2015年度 ガバナー 渡辺 治夫様をお迎えしての公式訪問です。第9グループガバナー補佐 澤田君雄様、地区会員増強維持委員長の満田信行様、お二人も同席にてのガバナー公式訪問です。私が話すよりガバナーにお話をいただいたほうが良いと思います。時間も延長となりますので最後までよろしくお願いいたします。

❖ 幹事報告



大川 久弥 幹事

- 1)先週ご案内しました10月19日に行われます地区対会2日目の出欠席のメ切が本日までとなっております。まだご提出されてない方は本日例会終了までにご提出ください。
- 2)次週23日は祭日の為休会です。次回例会は30日となりますので、お間違えの無いよう宜しくお願い致します。

❖ 委員会報告

職業奉仕委員会及び青少年交換学生カウンセラー 志澤 員

9/14(日)職業奉仕セミナーに参加してきました。職業奉仕の概念が難しいということを実感しました。しかしロータリーがロータリーらしくあるのは職業奉仕があるからと感ずることができて身になったセミナーでした。9/11に諏訪間くんがロシアに向けて出発しました。今はロシアで色々な方から歓待を受けているようです。

会員増強委員会・上田委員長

7月にゲストで来られた白井さんから入会申込書をいただきました。ゲストで来た時、年齢が上の先輩方が温かく迎えてくれたことがきっかけと仰っています。また、荻野会員からご紹介をいただき石坂さんとお会いしてきます。皆さまからのご紹介をこれからもよろしくお願い致します。

❖ 出席報告

小川 和夫 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
9月16日	50(48)	43	0	88.37%
9月9日	49(43)	35	0	81.40%
9月2日	48(45)	37	4	91.11%

【欠席者】 5名

石内 正彦、一寸木 信雄、大川 裕、須賀 俊和、木村 啓滋

【今回MU】 0名

【前回MU】 増加なし

【前々回MU】 1名増加

志澤 昌彦 (9/14 職業奉仕)

❖ 卓話

「ガバナー公式訪問」



国際ロータリー第2780地区 渡辺 治夫 ガバナー

今年度のRIゲイリーC.K.ホアン会長は中国南部生まれ台湾育ち、アメリカのミシガン大学を卒業して現在は警備会社の名誉会長です。31歳で台北のRCに入会し、ガバナー・RI理事・副会長・各委員会の委員長などを歴任してきました。そして

今年度のテーマは「Light Up Rotary (ロータリーに輝きを)」。

ホアン会長は「世界では常に多くの人々が助けを求めている。537名(のガバナー)が課題の解決に向けて動き出そう。自分にはできないと言って何もしなければ暗闇のまま。その暗闇にローソクを灯すのがロータリーだ。私が1本、あなたが1本、世界で120万本のローソクを灯すことで暗闇に灯りを輝かせることができるだろう」とこのテーマを作られました。

今年度4つの重点目標は、会員増強、寄附について、ロータリーデー、ポリオの撲滅です。まず会員増強。現在世界で120万人の会員を130万人にするのが目標です。活気あるクラブを築くには新会員を迎え入れること。台湾が会員増強で大成功しているのは伴侶や家族を会員に誘っているからです。日本では難しいかもしれませんが、世界各国そういう傾向もあります。寄附について。ロータリーは寄附に支えられており、ロータリー財団に恩恵を受けている我々が財団を支えなければいけません。そしてロータリーデーの開催。各地区で実施してもらいたいと思います。最後のポリオ撲滅。今の勢いなら2018年にはポリオは地球上から無くなるでしょう。もしそうなったらロータリーという組織が偉業を成し遂げる力があると世界に実証できると思います。

これを踏まえて地区の重点目標を3つ設定しました。会員増強、公共イメージと認知度の向上、寄附の獲得です。

1 番目の会員増強であります。会員増強は止めよう、そんなことより退会防止をしようと考えています。退会はクラブに魅力がないからです。効果的で有意義な明るい楽しいクラブなら退会者が出ず自然に会員は増えます。今の人数でいい、この人数で楽しく問題なくやっている、何故増やさなくてはいけない？とよく言われます。確かにそうです。でも何故会員増強しなくてはいけないのか？あらゆる組織が昔から会員増強を目指し、やらない組織は衰退しています。この地区は10年間で28%会員が減っているので、計算上は27年後にはゼロになってしまいます。昨年は純増で90名でした。これは23年ぶりの快挙で素晴らしいことです。でもその裏には2年間で306名も退会しているのです。本当に残念なことです。ですから会員増強の前に退会防止だと思っています。会員が減少すると各クラブの有効な活動が困難になり、士気モラルが薄れてクラブの空気が暗くなります。ドイツ・イタリア・スイスの3ヶ国が着実に会員を増やしているのは、ロータリーの基本的理念や魅力が理解され実践されているから。基本を大事にしたクラブが会員増強できると思っています。



具体的な実行目標です。退会には病気や家庭の問題など色々な理由がありますが『クラブ内の問題・親睦活動の欠如・会員間のトラブル』も大きな問題となります。また『ロータリー情報の欠如』も意外に退会に繋がります。その点でも研修リーダーの存在は重要になります。新会員は委員会だけでなく会員全員が育てて、すぐに役割を与えてロータリーを知ってもらってください。推薦者は永久にその会員のスポンサーとして面倒を見てあげてください。家族の理解、職場の理解も大切です。そしてメーキャップを推進し他クラブを勉強することも自分のクラブの良さが分かる、という大きな意義があります。また、人間の集団には何でもない挨拶が大切です。挨拶がないところにはきちんとした人間関係は築けません。それが原点だと思います。それからEクラブの件。これは反対が多いですが、私はEクラブをこの地区に作りたくて思っています。

私たちが大切に育てたローターアクトのメンバーを30歳で失うのは非常にもったいないことで、そういった人をEクラブに集めていきたいのです。ローターアクトもこの地区は4つしかありません。人数もインターアクトが200名いるのに対し36名しかいません。

ローターアクトは直接ロータリアンに繋がる組織ですので、皆で大切に育てていきたい、もっと会員を増やしていきたいと思っています。女性会員も世界が18.3%なのに日本は4.8%しかいません。この地区は多くて7.62%ですが何とか10%にしていきたいと願っています。女性の感性・気づき・情報網を採り入れることはクラブの活性化に繋がる重要なことです。

40代会員を増やす件。この地区は60代から80代で半分以上占められています。10年後20年後を考えると今30、40代を入れて育てるべきでしょう。クラブ会費の見直し、クラブ例会日時の見直し、クラブ会長の熱意・姿勢も大切です。退会者の再入会も助めてください。ぜひまた戻ってほしいと思える退会者には親睦活動に声をかけ週報を届け、再入会を促してもらいたいです。クラブのホームページもリニューアルしてください。今の時代皆さん必ずHPをご覧になります。それが古かったらもう見限られてしまいます。

2番目の公共イメージと認知度の向上。ロータリーって何する団体？という質問に50%の方が「知らない」と答えてらっしゃいます。そして「知っているけれど何をしているか分からない」が28.5%。それが日本の現状です。もっと幅広く広めていかないと会員増強はできません。1分間でロータリーの魅力を説明できるように普段から心がけてください。ロータリーバッジに関しては、プライドと自信と誇りを持って着用をお願いします。現在クールビズでも着けやすい形を検討しています。

3番目の寄附について。米山の寄附は1人2万円ですが、63クラブ中32クラブも未達成で非常に危機感を持っています。財団の寄附は1人200ドルですが、これも一昨年は35クラブ、昨年は45クラブが未達成でした。何とかしないと次の世代を育てられなくなってしまいます。

ポリオの撲滅に関しても2018年までに結果を出すために1人40ドルが必要です。もしも地球からポリオを無くしたらロータリーはノーベル平和賞をもらってもいいと思います。ロータリーが始めた大きな事業ですので、よろしくお願いします。

ガバナーとしての戦略計画はまた別の機会にお伝えしたいと思います。ロータリーは変わっていないと言われますが、ロータリーほど変化しているものはありません。変化に対応できるものが繁栄継続できるのです。明日のロータリーは今日のロータリアンの行動にかかっていることを忘れずに、輝きを皆で共有していきましょう。10/18、19に横須賀で地区大会が行われますので是非全員参加をお願いします。

ティーブレイクの後、澤田 君雄様（国際ロータリー第2780地区ガバナー補佐）、萬田 信行様（地区 会員増強維持委員会委員長）のお話しと質疑応答が行われました。

